定例常議員会

10月

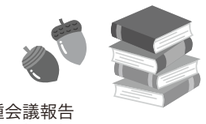
●報告事項
(1)9月～10月の各種会議報告
(2)鶴岡市への要望書提出報告
(3)会員親睦ゴルフコンペ開催報告
(4)工業部会視察研修報告
(5)つるおか大産業まつり2024報告
(6)青年部活動報告
(7)管内の景況調査(7～9月期)集計結果について

協議事項
(1)新会員の承認について
(2)第63回鶴岡商工会議所会員企業従業者表彰及び
第21回創業・創立記念会員事業所顕彰事業所について

その他
(1)鶴岡市中心市街地活性化計画の策定状況について
(2)常議員会資料のペーパーレス化の通常実施について

ゲストスピーチ
〈 テーマ 〉
「鶴岡市におけるDXの推進について」
〈 講 師 〉
鶴岡市企画部
デジタル化戦略推進室長 奥山 真裕 氏

11月



●報告事項
(1)10月～11月各種会議報告
(2)議員の職務を行う者の変更について
(3)卸売商業部会視察研修開催報告
(4)小売商業部会視察研修開催報告
(5)金融部会視察研修開催報告
(6)サイエンスパークまつり2024開催報告
(7)ビジネスマッチ東北2024報告
(8)採用関連実態調査について

協議事項
(1)新会員の承認について
(2)中期行動計画の推進に係る委員会の委員について

その他
(1)庄内空港将来ビジョンについて
(2)大阪・関西万博チケットについて

ゲストスピーチ
〈 テーマ 〉
「外国人材の受入拡大・定着に向けた取組み」

〈 講 師 〉
山形県みらい企画創造部
国際人材活躍・コンベンション誘致推進課
課長補佐(国際人材活躍担当) 富樫 幸司 氏

12月

●報告事項
(1)11月～12月各種会議報告
(2)運輸交通部会視察研修開催報告
(3)鉄工業部会視察研修開催報告
(4)第63回会員企業従業者表彰式並びに第21回事業所顕彰式開催報告
(5)庄内地域選出県議会議員と酒田・鶴岡両正副会頭との意見交換会開催報告
(6)当所中間監査実施報告

協議事項
(1)新会員の承認について

その他
(1)まちなかワンコインスタンプラリーについて
(2)鶴岡市宿泊促進キャンペーンについて

会員登録変更

代表者変更

鶴岡飲料(株)	→	代表取締役	青柳 康一郎
上野サイン	→	代表	上野 康
佐藤工匠	→	代表	佐藤 勉

住所変更

庄内通信建設(株)	→	美咲町32-10

新会員紹介

(株)リュウズ	靴小売 鶴岡市錦町2-21 エスモール内1階	齋藤 隆一
万年橋のおはぎや	菓子製造販売(おはぎ) 鶴岡市新海町7-8	五十嵐 壽子
輝蘭左官工業(株)	左官業 鶴岡市白山字興野75-1	本間 一輝
(株)京栄建設	土木業 農業土木 鶴岡市小京田字高田11-2	佐藤 仁吉

11 28 THU

庄内地域選出県議会議員と酒田・鶴岡両商工会議所役員との意見交換会

■会 場／いろり火の里 文化館なの花ホール

地元産業の振興及び地域社会の発展に向けては、鶴岡のみならず庄内全体で解決すべき課題が数多く、酒田商工会議所と共同で、地元の声を県政に届けようと庄内地域選出の山形県議会議員との意見交換会を、昨年度に引き続き開催しました。10名の山形県議会議員よりご出席いただき、庄内空港の機能強化や日本海沿岸東北自動車道の整備促進などについて、活発な意見交換が行われ、庄内はひとつになり同じ方向を向いて課題解決に取り組んでいくことを確認しました。

【意見交換テーマ】

(1)両会議所に共通する主要要望テーマ
①庄内空港の滑走路延長及び機能強化に向けて
②日本海沿岸東北自動車道朝日温海道路の完成目標年次の早期明示
③県民の命を守る河川(最上川水系等)整備について
④人手不足等への対応に関する支援強化について

(2)各商工会議所の個別主要要望テーマ
①(酒田)山形県沖洋上風力発電事業の促進に向けて
②(鶴岡)第3期中心市街地活性化基本計画の推進に向けた事業の展開

11 7 THU 8 FRI

卸売商業部会視察研修報告

■視察先／新潟県佐渡市 きらりうむ佐渡 NIPPONIA佐渡相川金山町
■参加者／9名(部会員8名・事務局1名)

きらりうむ佐渡では、佐渡の金山がユネスコ世界文化遺産に登録されるまでの取組みと今後の展開等について、佐渡市観光振興部職員よりお話を伺いました。

1990年代、市民団体が登録に向けて活動を始め、その後2004年に市町村合併で佐渡市が誕生し、現在の世界遺産推進課を設置、住民への呼びかけに力を入れ、30年という時間をかけて登録になったとのことでした。また、住民主体の㈱相川車座が運営する分散型ホテル「NIPPONIA佐渡相川金山町」の取り組みについてもお話を聞き、特別にホテルの一部も見学させて頂きました。市は、このホテルと連携し、食、体験、交流を通じて相川のファン増やしていきたいと考えているそうです。

11 11 MON

鶴岡商工会議所 小売商業部会視察研修報告

■視察先／①研究所概要説明・所内施設見学 秋田県総合食品研究センター
②説明付き工場見学 佐藤養助総本店
■出席者／13名(部会員12名・事務局1名)

秋田県総合食品研究センターでは、「秋田県の食品産業の振興」を推進するため、秋田県食品事業者からのニーズ、食品産業の動向、秋田県の施策等を踏まえ、食品の加工及び酒類の製造に関する技術開発に取り組んでいて、「加工技術開発チーム」「酒類チーム」「発酵食品チーム」「食品生物機能チーム」に分かれ、年間600件を超える技術相談・支援に携わっていらっしゃるお話しをお聞きしました。また、秋田県食品事業者への技術移転・普及促進も行っており、多くの秋田ブランド商品開発を支援している等ご説明を受けた後、研究所内の様子を見せて頂きました。佐藤養助総本店では、材料の選定から出荷前の検品に至るまで、手抜きを一切許されない完全な手作業で作られているとの説明を受けながら、工場見学をさせていただきました。

11 21 THU 22 FRI

令和6年度運輸交通部会 石川県視察研修会報告書

■視察先／石川県 小松市 ジェイ・バス㈱本社小松工場
金沢市 金沢商工会議所 運輸・車両業部会との懇談会
■参加者／7名(部会員6名・事務局1名)

1日目は、ジェイ・バス㈱本社小松工場にて視察を行いました。会社の概要の説明を受けた後に製造ラインを見学し、バスが完成するまでの工程を間近で見ることができました。2日目は金沢商工会議所を訪問し、運輸・車両業部会との懇談会を行いました。懇談会の内容は、昨年の1月に発生した能登半島地震、9月発生した能登半島豪雨の被害について説明をしていただきました。その後、災害時の状況や復興状況について意見交換を行いました。

11 29 FRI 30 SAT

鉄工業部会視察研修会

■視察先／横須賀ベイサイドエリア・大田区おおたオープンファクトリー2024
■参加者／8名(部会員7名・事務局1名)

よこすか近代遺産ミュージアムにおいて横須賀港の歴史、文化を学びました。軍港めぐりや復元された戦艦三笠記念館、海に面した冷凍倉庫を改装した三浦半島の食文化を体験できる、よこすかポートマーケットを見学しました。

東京都大田区の町工場28ヶ所で開催される「おおたオープンファクトリー2024」は町工場の技術や職人との交流が楽しめ、来訪者、町工場、企画者が一緒になって、モノづくりのまちを盛り上げるイベントとなっています。㈱嶋絞製作所はへら絞り加工のエキスパートで高度な精度を実現し、㈱三陽機械製作所は高精度切削・研磨加工を提供しています。千蔵工業㈱は「TERAOKA」ブランドの自動ドアを開発・製造し、幅広い施設で採用されています。

10 22 TUE 23 WED

鶴岡エネルギー懇談会 鶴岡商工会議所工業部会合同視察研修会

■視察先／東北電力㈱女川原子力発電所・㈱木の屋石巻水産美里町工場・河北新報印刷㈱・東北電力㈱三居沢発電所
■参加者／17名（鶴岡エネルギー懇談会7名・工業部会8名・事務局2名）

宮城県の4企業を視察し、復興の歩みを目の当たりにしました。東北電力㈱女川原子力発電所では、再稼働に向けた取り組みを、㈱木の屋石巻水産美里町工場では、新たな商品開発への挑戦を、河北新報印刷㈱では、環境に配慮した印刷技術を、そして東北電力㈱三居沢発電所では、歴史ある水力発電所の役割を学びました。各社の技術力と復興への強い意志に感銘を受けるとともに、自社の経営にも活かせるヒントを数多く得ることができました。参加者からは、「被災地企業の底力に感動した」「地域経済の活性化に貢献したい」などの声が聞かれ、今後の会員企業間の連携強化が期待されます。

11 28 THU

ものづくり分野のAI活用を考える講演会

■会　場／東京第一ホテル鶴岡
■参加者／53名

鶴岡商工会議所工業部会・技術者ネットワーク主催で「ものづくり分野におけるAI活用を考える講演会」が開催されました。講師には、㈱ビジョン・コンサルティング・デジタルの加藤陽一氏と神田伸也氏をお迎えし、生成AIがものづくりにもたらす革新的な可能性について講演いただきました。

講演では、生成AIの基礎知識から、実際の製造現場での活用事例まで、幅広い内容が分かりやすく解説されました。

参加者は、生成AIが設計、生産、品質管理など、ものづくりの様々な工程で活用できることを知り、大きな関心を寄せました。

講演後の体験会では、参加者自身が生成AIに触れ、その手軽さと可能性に驚きの声を上げていました。PPTの自動生成やプログラムの作成など、実際に手を動かすことで、AIの活用イメージを具体的に掴むことができました。

懇親会では、講師や他の参加者との活発な意見交換が行われ、新たなビジネスチャンスにつながるような交流が生まれました。参加者からは、「生成AIの導入を検討したい」「自社の業務にどのように活用できるか考えさせられた」「他の企業との連携を深めたい」などの声が聞かれました。

今回の講演会は、地域のものづくり企業にとって、生成AIという新たな技術への理解を深め、今後の事業展開を考える上で貴重な機会となりました。

11 18 MON 19 TUE

金融部会 視察研修会

■場　所／北海道 函館市
■視察先／公立はこだて未来大学・㈱ベリサーブ函館
　函館どつく㈱
　古民家リノベーションオフィスICT KOBO® HAKODATE
■参加者／10名

「人口減少」、「企業誘致」、「インバウンド」、「IT」をテーマに、函館市の「ものづくりセールス事業」を活用し大学や企業を視察しました。各視察先で貴重なお話を伺えただけでなく、函館市役所の「積極的な姿勢」が非常に勉強になりました。

〈公立はこだて未来大学〉
全国的に不足しているIT人材を数多く輩出しているほか産学官の連携も積極的に行っています。

〈㈱ベリサーブ函館〉
様々な分野のソフトフェア品質保証サービスを提供。函館市の積極的な誘致支援と熱意、技術系教育機関等が函館進出の決め手。

〈函館どつく㈱〉
新造船、艦艇・船舶の修繕のほか、海上自衛隊や海上保安庁の北日本最大の修繕基地。地元高専等と自動化やロボット開発等の共同研究も積極的に行っています。

〈古民家リノベーションオフィスICT KOBO® HAKODATE〉
地域企業や自治体との協業で地域のDXなどに取り組んでいます。当社のオフィスは「函館市西部地区再整備事業」によって、歴史的建造物をリノベーションした建物であり、地域課題の解決にも貢献しています。

11 13 WED

脱炭素・GX経営入門セミナー

■会　場／鶴岡商工会議所会館2階 会議室
■第1部／脱炭素が求められる背景、脱炭素を実現するための仕事変革等
　講師：中企業診断士 田内 孝宣 氏
■第2部／山形県の脱炭素化に向けた取組みについて
　講師：山形県環境エネルギー部環境企画課 木村 孝平 氏
■参加者／9名

脱炭素・GX経営セミナーを実施しました。政府が2050年までに実現する脱炭素社会、カーボンニュートラルを実現するためには、中小企業がGX経営に取組むことが求められます。当セミナーでは、第1部でGX経営の必要性や今後期待される分野など新たな経営戦略のヒントとなるポイントについて説明をしていただきました。

また、第2部では脱炭素・カーボンニュートラルを身近に感じていただくために、山形県が行っている取組みや事例について説明をしていただきました。

11 28 THU

Instagramビジネス活用セミナー

～検索対策からストーリーズ・リール・ライブ配信まで～

■場　所／鶴岡商工会議所会館2階 会議室
■講　師／イーンスパイア㈱代表取締役 ネットビジネスアナリスト 横田 秀珠 氏
■参加者／17名
■主　催／鶴岡商工会議所
■共　催／鶴岡商工会議所小売商業部会・鶴岡TMO・鶴岡商店会連合会

個人のお店でも無料で取り組める国内7,600万人が利用するInstagramを活用した、売上げアップを目指すビジネス活用セミナーを開催しました。

Instagramは機能が日々変化している為、その機能に合った対応をしなければいけないとのお話しで、表示の仕方が日付順ではなくなった事に対する対応策、キーワード検索に切り変わった事への対応、InstagramDMによる営業・接客コミュニケーション術や新機能「ノート」について、Instagramストーリーズの秘訣等、具体的な対策法について学びました。

11 21 THU

鶴岡TMO商店・商店街レベルアップ事業 繁盛店づくり支援事業臨店研修

■講　師／並山 武司 氏　■参加店／3店舗

鶴岡TMO事業として、魅力ある店舗づくりと商店街活性化に向け、より多くのお客様が足を運びたくなる商店街を目指すため、繁盛店づくり支援事業「臨店研修」を実施しました。

事前に資料で参加店の課題を講師と共有し、臨店研修では、実際に講師がお店を見て、改善手法を提案していただきました。具体的な内容としては、来客数を増やす為のPR方法、入店しやすいお店にする為の対応策や、お客様の回遊性を高める手法、無人店のPR方法等についてお聞きしました。各店への指導は分かりやすく、すぐに実践できる内容のもので、今後につながる研修となりました。

10 2 WED 16 WED 29 TUE 11 14 THU

初開催

商品設計セミナー開催！

～適正な売上・利益を得るために事業を顧客視点で考える～

■講　師／HAYASE（宝石店）代表 セールスコンサルタント
　マーケティングコンサルタント　大瀧 由希 氏

本セミナーでは、合計3日間＋αの集中カリキュラムを通して、顧客視点に立った商品・サービスの提供に注力する方法等を学びました。実際のお客様に自社の商品・サービスに対する満足度を直接ヒアリングする等ユニークな内容も盛り込まれており、受講者からは「事業の根幹を深く考えさせられたことで経営に対する考えが変わった」、「自社商品が売れない理由がよくわかった」、「わかりやすく、気づきが多く、わくわくする内容でした」などの声が聞かれました。

11 2 SAT

鶴岡サイエンスパークまつり2024

■会　場／鶴岡メタボロームキャンパスほか

慶應義塾大学先端生命科学研究所をはじめとする最先端の研究施設が集積する鶴岡サイエンスパークにおいて、「鶴岡サイエンスパークまつり２０２４」が盛況のうちに開催されました。

本まつりは、市民の皆様にサイエンスパークの魅力をより身近に感じてもらうことを目的とし、研究施設の公開や、様々なサイエンス体験ブースの設置、地域企業とのコラボレーション企画などが行われました。

今年の来場者数は約１，５００人となり、前回より減少したものの、出展ブースは47、キッチンカーは16と充実し、子どもから大人まで楽しめる多彩なプログラムが満載でした。通常非公開の研究施設を特別開放し、最先端の研究設備や実験の様子を間近で見学できる機会を提供したほか、顕微鏡による微細生物の観察、バイオクラスター形成促進事業の活用事例の紹介など、サイエンスの面白さを体験できるブースが

多数設置されました。

地域企業との連携企画では、青年部企業による抹茶点て体験と共に、納豆菌粉を活用したオリジナルスイーツの試食会が好評でした。この連携企画は、来年鶴岡で開催される国際学会での抹茶提供へとつながるなど、サイエンスパーク企業との連携強化のきっかけとなりました。

今後も、より一層内容を充実させ、地域に根ざした科学イベントとして発展させていく予定です。

11 27 WED

第1回

～人材不足にこの一手～ つるおかDXソリューションフェア開催！

■主　催／鶴岡DX推進協議会、鶴岡商工会議所
■共　催／山形県庄内総合支庁、(公社)鶴岡法人会
■講　師／メインセミナー　アップコンパスIT経営マガジン「COMPASS」代表 石原 由美子 氏
特別セミナー　鶴岡税務署管理運営部門統括官 佐々木 新市 氏

フェアでは、生産性向上や働き方改革等を後押しするITツールを多数展示したほか、セミナーを同時開催しました。

メインセミナーではアップコンパス代表の石原由美子氏から「ITの使いどころ」を経営目線と最新IT同行からわかりやすく解説いただきました。特別セミナーでは鶴岡税務署の佐々木新市氏からキャッシュレス納付等税金事務の電子化について

紹介いただきました。

地域企業のDXはあまり進んでいない現状があります。「何をしたらいいのかわからない」、「ウチのような小さい会社はこのままでいい」、「お金がかかるし」などDXが進まない理由は様々あります。鶴岡DX推進協議会はそんな方々のお悩みを解決いたします。

無料相談をご希望の方は鶴岡商工会議所HPからお申込みください。

◎企業の課題を解決するITツールを多数展示

奉行シリーズ　全業種 販売管理・人事労務・会計税務　等 バックオフィスの主要な業務に幅広く対応	大臣シリーズ　全業種 販売管理・人事労務・会計税務　等 バックオフィスの主要な業務に幅広く対応	動態管理サービス等　運輸・建設業等 動態管理・危機管理（災害等） 各種無線機器
SKYPCE　全業種 営業支援 名刺情報全社共有ツール	SKYSEA M1 Cloud　全業種 IT資産管理、情報セキュリティ支援 PCアクセス管理やセキュリティ対策等、IT資産管理ツール	勤怠管理システム　全業種 勤怠管理、労務管理 アルコールチェック機能付き勤怠管理（カスタマイズ可）
基幹システム(カスタムERP)　全業種 販売管理、生産管理、PC-POS　等 バックオフィスの主要な業務に幅広く対応(機能自由選択)	sXGPシステム（スマホ内線）　全業種 情報通信（ICT） 現代の通信革命を体験、Wi-fiを超える高品質通信	DX人材教育　全業種 人材教育 NECアカデミーの認定講師によるDX人材の教育
電子帳簿、キャッシュレス納付等　全業種 会計税務 税務の電子化や国税庁の動向について紹介	鶴岡市の施策　全業種 情報提供 鶴岡市のDXへの取り組みついて紹介	相談　全業種 情報提供 鶴岡DX推進協議会によるDXに関するお悩み相談

11 2 SAT 3 SUN

食文化を核とした着地型旅行商品造成およびテスト事業

鶴岡ふうどガイドとめぐる 食と歴史まちなか探訪

■共　催／DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー

鶴岡の食文化と城下町の歴史を掛け合わせた、観光客が気軽に参加できる短時間型まちあるきツアーを試験実施しました。

今回の特徴は2つあります。1つ目は観光客の利便性を考慮し、ツアー前日17時まで受付可能とし、旅のすきま時間の利用を狙って2パターンの時間を設定したこと、2つ目は鶴岡ふうどガイドとまちなかの観光ガイドがリレー形式で案内したことです。〝旅ナカ〟客向けの広告宣伝のため、SNSと駅周辺の宿泊施設へのチラシ設置だけでしたが、狙い通りの客層にご利用いただくことが出来ました。

来年度以降は今回得た観光客の動向と需要を活かし、市内循環バスを活用した中心市街地への誘客を図るとともに、本格的な運用を目指します。

鶴岡ふうどガイドによる庄内柿の説明

駅から公園までは市内循環バスで移動

行程　＝市内循環バス、ー徒歩

鶴岡駅 ＝ **大督寺**（学校給食発祥の地） ー **百間堀跡／大宝館** ー **荘内神社** ー **鶴岡公園**（庄内柿の祖・酒井調良胸像） ー **鶴岡公園**（二の丸広場） ー **致道館** ー 鶴岡市役所 ＝ 鶴岡駅

11 28 THU

ハラール＆ベジ 食の多様性セミナー

■会　場／にこ♡ふる　■参加者／12名
■講　師／㈱Maestranza 代表取締役 料理家・地域フードプロデューサー 比嘉 康洋 氏
■共　催／DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー
■後　援／鶴岡食文化創造都市推進協議会

インバウンド増加に伴う〝食の多様化〟に対応するため、市内宿泊施設や飲食店を対象としたハラール食やベジタリアン食の入門セミナーを開催。基礎知識を学ぶ座学だけでなく、実際にベジタリアン食を作る様子を見ながら試食も行いました。

講師からは「植物由来の代用食材を使ったり、既存メニューを少し変えるだけで現場に負担をかけず簡単に作れる。鶴岡には豊かな食文化の素地があるので、食で選ばれる観光地になるよう地域全体で取り組んでほしい。」とアドバイスいただきました。

今後も当会議所では会員事業所へ新規顧客獲得の機会を提供するとともに、ユネスコ食文化創造都市として多様な食があふれる街を目指します。

参加者の感想

- 近年1番求められる項目なので非常に勉強になった
- ベジタリアン対応の食材や既製品が多くあることが分かり、色々と試してみたいし、料理も作ってみたい
- 既にある精進料理や日本料理の考え方を軸とした料理に代用食品を組み合わせることで対応可能と知れてハードルが下がった

11/14 THU ビジネスマッチ東北2024出展

■場　所／仙台市 夢メッセみやぎ

鶴岡信用金庫協力のもと、「企画・グループ出展」区画に、当所会員企業の有限会社ティーズファクトリー、I Blue㈱、Ai PRANAの3社が出展しました。地元の食材、原材料を使用して開発したオリジナル商品として有限会社ティーズファクトリーでは、YATACOLA、YATAGINGER、YATALEMONADEを、I Blue㈱では庄内柿を使用したエナジーバー、プロテインバーを、Ai PRANAでは出羽三山をイメージしたアロマ商品シリーズ全9種類を出品し、全国から招聘された商社や小売店、百貨店等の有力バイヤーや一般来場者にPRを行いました。当日は来場者に対して商品の魅力度や味、価格等についての需要動向調査を行い、今後の商品改良や商品開発の参考とすることができました。

11/27 WED 価格高騰に負けない！商品価値が伝わる収益向上セミナー

■場　所／鶴岡商工会議所会館2F会議室
■講　師／RFM laboratory 代表
リピートファンマーケティング専門家
近藤 敏弘 氏

原油価格や物価高騰などの影響により、事業者にとって厳しい状況が続いていますが、「利益感度分析」、「商品価値の伝え方」、「顧客データ活用」など、利益アップにつながる手法について事例を交えて説明をいただきました。

いかに商品価格ではなく商品価値をお客様に伝えるか、また、顧客データを活用して新規顧客の獲得から、2回目購入客へ、さらに継続購入（リピートファン化）へと育てるために、常にお客様に対して商品やサービスの情報を発信しつづけることが大事であるとのアドバイスをいただきました。

12/5 THU 事業継続力（BCP）強化セミナー 豪雨災害から会社や従業員を守る ～台風や大雨警報発令時、何をすればよいのか～

■場　所／鶴岡商工会議所会館2F会議室
■講　師／独立行政法人中小企業基盤整備機構
中小企業アドバイザー・中小企業診断士
渡邉 明代 氏

BCP（事業継続計画）とは、企業が自然災害や感染症等の緊急事態に遭遇しても重要業務の継続や早期復旧ができるように事前対策や、緊急時の初動、復旧対応などをあらかじめ取り決めて、文書化したものです。

近年、各地で毎年のように豪雨による浸水被害や土砂災害が発生し、今年7月には山形県においても広範囲で豪雨災害に見舞われましたことから、今後も多発する可能性のある水害から会社や従業員を守るための会社のタイムライン（水害の防災行動計画）の作り方や、『（連携）事業継続力強化計画』認定制度による連携企業の信頼向上、競争力向上、地域経済安定化の効果についても説明いただきました。

12/20 FRI 12/24 TUE 成功を引き寄せる自社分析と事業計画書の作り方セミナー

■場　所／鶴岡商工会議所会館2F会議室
■講　師／有限会社 まる進 代表取締役
中小企業診断士
渡辺 進也 氏

アフターコロナや物価高騰により、経済活動はこれまでにない変化が求められています。このような中、経営環境の変化に適応、自立した経営を確立するため、しっかりとした事業計画を策定することが重要です。

事業計画策定にあたり、現状の課題に対して目標を整理したうえで、目標達成へのビジョンの明確化、自社の強み、商品の特徴・魅力の抽出や広告宣伝強化をおこなう方法について学びました。

DEGAM鶴岡 ICTアンケート調査

観光地域づくり法人（DMO）であるDEGAM鶴岡ツーリズムビューローでは、令和二年より観光客にQRコード入りカードを配布し、ネット上のアンケートシステムで回答いただくICT調査（静岡県立大学との共同研究事業）を実施しています。調査結果は、DEGAM会員向けに情報提供されていますが、今回は特別に会議所会員の皆様用に抜粋した内容を公開いたします！

令和6年上半期（4～9月）

【調査期間】令和6年4月1日～9月30日　※令和2年3月13日より継続中。

【調査対象】鶴岡市を訪れた観光客

【調査方法】宿泊施設のフロントにてチェックイン時にQRコード付きの名刺カードを配布。主なカード設置施設は以下のとおり。
・市内4温泉の宿泊施設並びに市内ビジネスホテル（53施設）
・市内の主な自社、観光・物販施設、道の駅等（17施設）
・鶴岡市観光案内所、庄内空港インフォメーションカウンター（2施設）

【調査項目】Webアンケート（旅行者プロフィール、旅行目的等）

【回答者数】3,452人（前年比2,377人増）
令和6年4～6月：1,614人（前年同期比313.4%増）
令和6年7～9月：1,838人（前年同期比328.2%増）

【調査協力】静岡県立大学経営情報学部渡邉研究室

・回答者の年齢（階級別）

■10代以下 ■20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60代 ■70代 ■80代以上

➡ 回答者の年齢に大きな変動はなく、「50代・60代」の比率が高い。前年比で70代の回答が伸びている。

・回答者の居住地

■山形県 ■首都圏 ■隣県 ■宮城県 ■北関東 ■北東北 ■その他

【首都圏】東京・神奈川・千葉・埼玉　【隣県】秋田・新潟・福島　【北関東】茨城・栃木・群馬　【北東北】青森・岩手

➡「山形県」と「隣県（宮城県以外）」の比率が減少し、首都圏の比率が増加した。

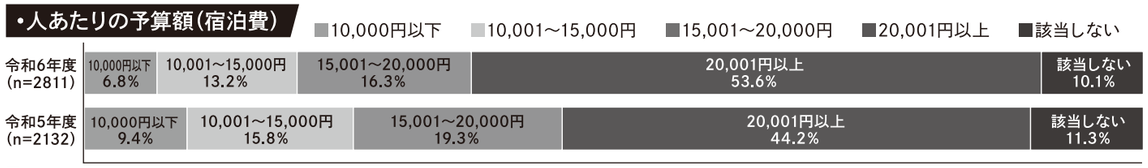
・旅行日数

■日帰り ■1泊2日 ■2泊3日 ■3泊4日 ■4泊以上

➡ 年々「1泊2日」の割合が減少傾向にある。旅行日数と居住地から鶴岡までの距離はほぼ比例しており、遠方からの来訪者ほど旅行日数も長い。

・人あたりの予算額（宿泊費）

■10,000円以下 ■10,001～15,000円 ■15,001～20,000円 ■20,001円以上 ■該当しない



➡ 令和3年から宿泊費が高価格帯へ大きくシフトし、その後下降傾向にあったが、令和5年1～3月期から継続して上昇傾向にある。

・昼　食

旅行中の昼食のジャンル（複数選択）の大きな変化はなく、「海鮮・寿司」が33.9%と最も多く、次いで、「ラーメン」29.8%「うどん・そば」27.0%の順。前年に比べて「イタリアン」7.3%「コンビニ」4.7%の増加率が高くなった。

・鶴岡を選んだ理由

「地元ならではの食がある」が最も多く、以下「魅力的なホテルや旅館がある」「海や山などの景色の良さ」となっており、「割引がある」「人気や話題性がある」「街に賑わいがある」等の一過性の魅力・価値よりも普遍的な価値を重視する割合が高い。

結果から見えてくる今後の課題

・QRコード付き名刺カードの設置場所の増強と若年層旅行者からの回答強化
・鶴岡を選ぶ理由で低順位だった「アクティビティ」（登山、海水浴、スキー等）の観光商品開発及び魅力発信の強化

QR付き名刺カード設置事業者を募集中！

回答数を増やすことで調査結果の偏りが少なくなり、データの正確性が高まります。
より多くの観光客の方にカードが行き渡るよう、皆様のご協力をお願いいたします！
お問合せ先：DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー（押井・酒井）

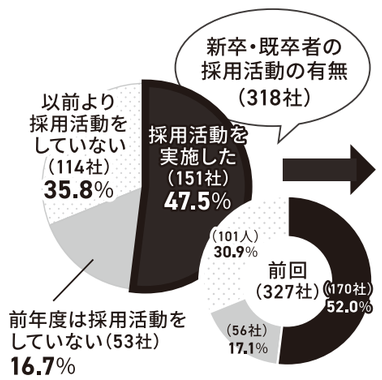
令和6年度　採用実態調査結果

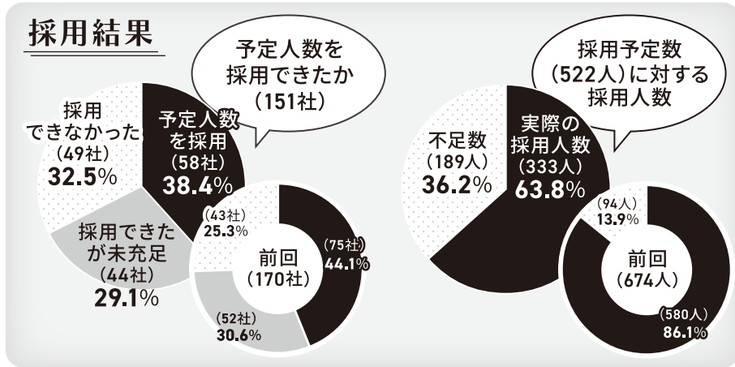
鶴岡商工会議所と鶴岡地区雇用対策協議会では、地域の採用状況を把握し、今後の対応策を検討するため、平成27年度より毎年同時期に本調査を実施しております（今回の回答数：318社）。

鶴岡管内の令和6年3月の新規高卒者の求人倍率は3.65倍と、前年から0.41ポイント上昇しました。今春（令和7年3月）の新規高卒就職希望者数は1.0%減少（313人→310人）、県内就職希望者は1.7%減少（230人→226人）となり、採用環境は厳しい状況が続いております。

調査結果の詳細はこちら

新卒者・既卒者の採用活動状況



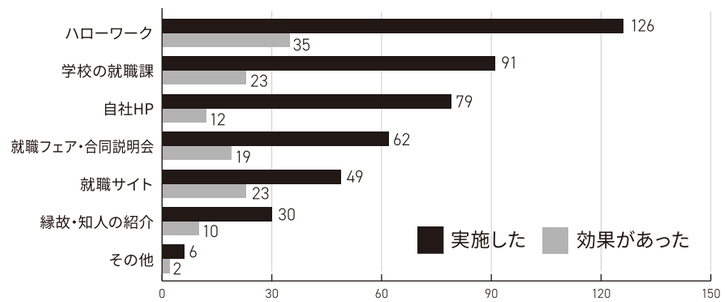


今春の新卒・既卒者の採用活動を実施した事業所数は、アンケートに回答いただいた318社中151社・47.5%で、割合は前回調査から4.5ポイント減少しました。

この採用活動を実施した151社の採用結果は、予定人数を採用出来た事業所は58社・38.4%、計画通りの採用ができなかった事業所（未充足＋採用出来なかった）は93社・61.6%となり、前回調査から5.7ポイント悪化しています。

採用人数については、全体の採用予定数522人に対し、実際の採用数は333人・63.8%、不足数は189人・36.2%であり、不足数割合は前回調査よりも22.3ポイント増加しています。不足数も前回調査の170社・94名から151社・189名と大きく増加しており、採用難がさらに顕著となっています。

新卒者・既卒者へ向けて実施した募集方法

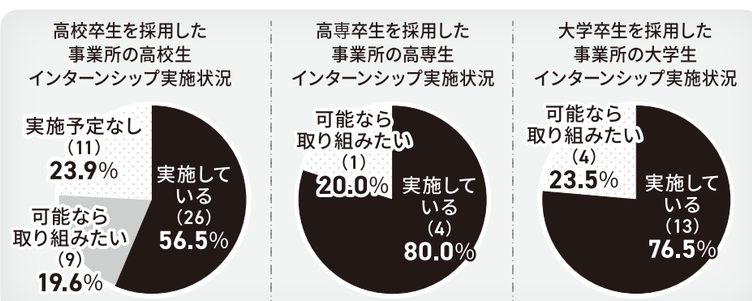


採用の為に実施した募集方法（グラフ上段）は、「ハローワーク」「学校の就職課」「自社HP」「就職フェアや合同説明会」、「就職サイト」の順に利用が多くなっています。

効果があった募集方法（グラフ下段）としては、「ハローワーク」「学校の就職課」「就職サイト」などへの回答をいただいております。特に、就職サイトを活用した事業所の約半数において効果があったとの回答でした。

新卒者・既卒者を採用した事業所のインターンシップ実施状況

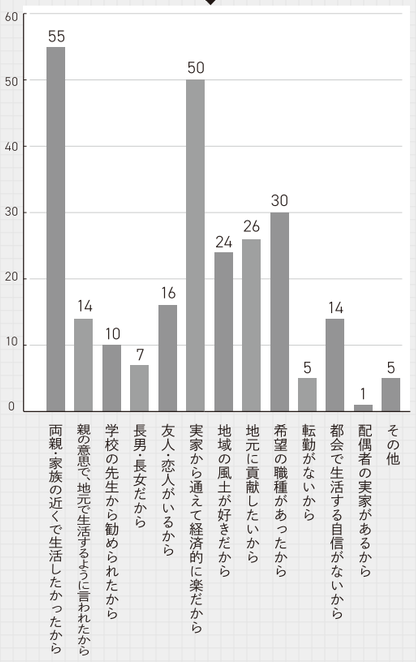
インターンシップ実施状況と採用状況の影響は、高卒生を採用した事業所の56.5%、高専卒生を採用した事業所の80.0%、大学卒生を採用した事業所の76.5%と、比較的高い割合でインターンシップが実施されております。今回の調査では昨年よりもインターンシップを実施している企業は減りましたが、グラフの通り、やはり学生の新卒採用に向けては、積極的なインターンシップへの取り組みが非常に重要であると考えられます。



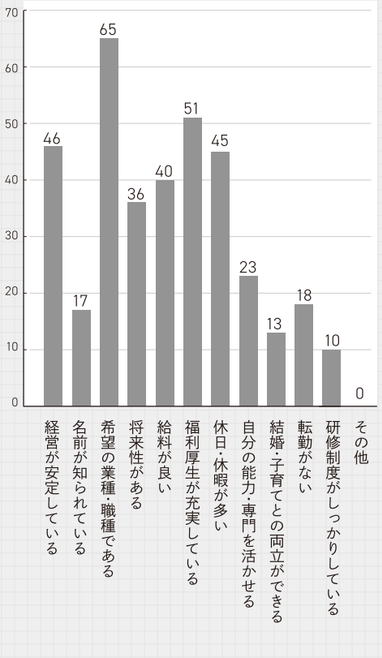
令和６年度 就職活動調査新入社員の就職活動の状況

鶴岡商工会議所と鶴岡地区雇用対策協議会では、鶴岡地域で令和６年４月に入社・就職された方々の就職活動の状況を把握し、今後の対応策を検討するため、今年度初めて本調査を実施しました。（回答数：70事業所 117名）

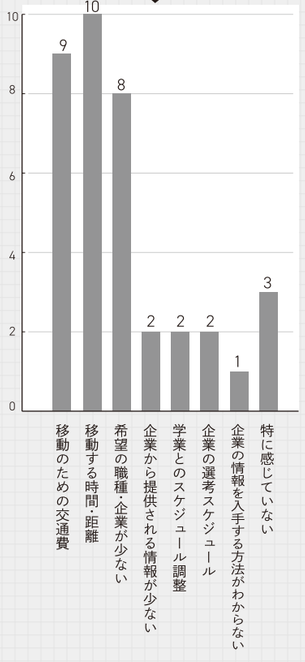
01 鶴岡地域（鶴岡市・三川町）で働くことを決めた理由（複数回答可）



02 就職先の企業を選ぶ上で重視した点（複数回答可）



03 Uターン就職活動において鶴岡地域での就職活動で障害に感じたこと（複数回答可）



12/6 FRI 新入社員フォローアップセミナー

入社1～3年目の新入社員を対象に、社会人力を向上させるためのフォローアップセミナーを開催しました。

セミナーでは、まずワークシートを用いて入社後の振り返りを行いました。その後、地域同期として先輩から、仕事のやりがいや問題解決の方法についてお話しいただき、受講者が抱える悩みについてのヒントや、今後のキャリアに活かせる内容をお伺いしました。

■会場／マリカ市民ホール
■参加者／36名（24事業所）
■講師／carrierex mikke! 代表
山形大学 非常勤講師
キャリアカウンセラー
浅野 えみ 氏

グループワークでは、お互いの意見を出し合う場面が多くみられました。働くうえで感じていることなどを共有し、庄内地域で一緒に働く同世代の仲間として、交流を深めました。

“基本”こそ一生の宝物。愛され社員になるマナーとコミュニケーションを身につけよう！

新入社員教育セミナー 開催のお知らせ

第１回	3/26（水）	【時間】両日とも 9:30～16:00
第２回	4/11（金）	

各1日のみの参加も可能ですが、講座の内容が連動するため、できるだけ両日への参加をお勧めします。

■会場…庄内産業振興センター
■定員…各回50名
■対象…新規学卒者 または入社後1年位までの方
■内容…● 社会人としての自覚
● コミュニケーション力
● ビジネスマナー（挨拶、身だしなみ、言葉遣い、電話対応、名刺交換）

主催／鶴岡商工会議所
共催／（公社）鶴岡法人会・鶴岡市・鶴岡地区雇用対策協議会

詳細は折込のチラシをご覧ください